

連合岩手県北地域協議会2019新春旗開き



2019年1月25日(金)18:30より二戸ロイヤルパレスにて「2019新春旗開き」を開催しました。

当日は久慈地区の構成組織の皆さんにもお越しいただき、総勢56名での盛大な旗開きになりました。

1月は旗開き、新年会、交賀会、地域でのイベントなど、多忙なところ多数の御来賓の皆様にもご出席をいただき、参加者の皆さんと懇親を深め、今年1年の労働運動の力強いスタートを踏み出すことができました。

～県北地域協議会 議長 中田 茂～

一つ、今年4月より大企業から施行される働き方関連法の時間外労働の上限規制について、この県北地域の中小企業では労働組合が非常に少なく、労使で結ぶ36協定がしっかりと締結されるよう、2020年4月の中小企業に施行されるまでに、地場中小企業で働く仲間に対し、Action36の活動に合わせて、36協定の周知に力を入れていくこと。

二つ、4月27日に開催するメーデーについて、今年度は連休初日での開催となるので、一般の方々の目に触れることが出来るメーデーを目指し、県北地協が一体となり取り組みを行うこと。

三つ、選挙イヤーの今年は参議院選挙と統一自治体選挙では、連合が推薦する候補者全員の当選を果たし連合岩手結成30周年を迎えたい。そのためにも構成組織と共に最大限の取り組みを行うこと。

以上、新年の挨拶として3点をお伝えしました。



～連合岩手 会長 八幡 博文様～

一つ目は、春季生活闘争ではこれまで底上げを頑張ってきたが、実態は大企業と中小企業との格差は縮まらないし、正規と非正規との格差も同様である。今年度は絶対額を注視して水準を引き上げていく春闘とする。各組合で働き方改革も含めて交渉し、底上げのご尽力をいただきたい。

二つ目として今年度は12年に1回の参議院選挙と統一地方選挙と一緒に戦われる年である。岩手としては先に行われる参議院選挙をいかに戦うかで、県議選、知事選にも影響が及んでくる状況にある。基本として、選挙区では野党がまとまって闘うべきという方針だが、候補者擁立に手間取っているのが実態である。擁立以降は皆で一丸となり全員で取り組んでいけば、勝てると思っている。

今の政治を変えるには民意を示すことが大切であり、この観点で今年の戦いを乗り切っていきたい。





～二戸市 副市長 大沢 治様～

今年には元号の改元、消費税の引き上げ、多くの選挙など時代の大きな節目の年である。併せて、働き方改革関連法が施行される改革元年と位置づけられる年でもある。本県は全国と比べて労働時間が長く、一方で賃金水準が低い状況にあり、更なる業務の効率化、生産性の向上に対し、着実な働き方改革が求められている。

近年、人口減少に伴い人材確保が大きな課題である。市では年末やお盆の時期に二戸駅で帰省客を出迎える企画を実施している。観光移住定住情報・地元企業を紹介できるパネルの設置などで故郷の魅力を伝え、Uターン・Iターンに繋がるPRを行っている。これからも地域や企業・団体の皆様と力を合わせ、元気で安心して暮らせる町づくりに取り組んでいく。

～一戸町 町長 田中 辰也様～

今年の景気は上がり調子というところから踊り場にきているのは・・・という話が出ているが、「我々の地域は本当に踊り場にきているのか」というのが本音である。企業としては労働者不足が押し寄せており、町としても手立てを打たなければならないと思っている。中高生には企業のPRをしているが、そこから先は手が離れてしまう状況で、高校を卒業した後も地場の企業に興味を持ってもらえる形を模索中である。県北地域として素晴らしいモノづくり企業のお力を借り、県北地域を発展させる集まりをしたところである。地元で働く場所の確保・他地域から呼び寄せる活動を行う為に、皆様からのご意見も頂きながら取り組んでいく。



～岩手県議会 副議長 五日市 王様～

今年には12年に一度の大型選挙イヤーであり、7月に参院選と二戸市議選、9月には知事選と県議選がある。参院選では、ようやく野党が動き始めたという感を持っている。今の与党に勝つためには野党連携が絶対に必要であり、そこへたどり着くために現場の方々のご苦労されていると思う。参議院では南と北に一人ずついた方が良いという考え方を取れば、今回は北からの候補者を擁立していただきたく、創生いわてとしても県北の方の推薦をお願いしているところで、今後の行方を見守っていきたい。新しいリーダーを決める大切な年になるので、皆様からのご支援を頂きながら戦いに勝ち抜いていきたい。



挨拶をいただいたご来賓と中田議長による鏡開き

乾杯は元衆議院議員の畑浩治様

～畑浩治様～

この30年間で皆さんも予想もしなかった働き方の変化があり、終身雇用が無くなって、人口減少から外国人が入ってくる時代になり、先が見えなくて大変な時代である。こういう時こそ政治がその先を示さないといけない。労働組合には働く人の安心をしっかりと確保・底支えをしていただきたい。



二戸市議会議員
及川正信様



二戸市議会議員
鈴木忠幸様



東北労働金庫二戸支店
支店長 菊地浩喜様



全労済盛岡支所
支所長 奈良重則様



抽選会の特賞は東京銀座ファッションユニオンの角田直人委員長に当たりました(^_-)-☆

抽選会では構成組織からたくさんの景品提供をいただきました。当地協からは一戸の縄文遺跡にちなんだ「鼻曲がりクッキー」や金田一の「座敷わらし」のお菓子から始まり、南部・三戸・田子町と、洋野町から普代村までの地域の特産物などを準備しました。田子町のニンニクを使用したワインはお酒を飲めない鈴木市議に当たり、気が付けば鈴木市議の好意により「おちょこ」で興味のある皆さんがご馳走になっていました。しっかりとニンニクが効いていました。

《 愛のカンパ 》

参加者とご来賓の皆様のご理解により、
21,261円のカンパ金が集まりました。
ご協力に感謝いたしますm(_)_m



全国一斉集中労働相談ホットライン県内街頭キャンペーン

なんでも労働相談ダイヤル開設 **0120-154-052**

2月7日(木)～8日(金) 午前10時～午後6時

1月30日に久慈市「土風館前」と1月31日に二戸市のホテル村井の駐車場をお借りし県内街頭キャンペーンを実施しました。二戸市では鈴木忠幸市議会議員から「働き方改革関連法」について、時間外労働の上限規制や同一労働同一賃金等の課題や、政治に対する問題について力強く訴えていただきました。

久慈市ではティッシュを受け取る方々の心の優しさを感じました。「このティッシュをもらった私は何をすればいいの?」とお二人から質問を受けました。詳細を説明すると「わかりました。頑張ってくださいね」と声をかけられました。昼食に立ち寄った洋野町の食堂では、旦那さんが外に出て、地協車を見て「今は762円か、うちは800円だから問題ないべ?女性が良く働いてくれるから、払える範囲内だけたくさん払いたいから」と話していました。このような地域の方々のためにも、地域の活性化、労働環境の改善に対する活動にしっかりと取り組んでいきます。

